

神戸大学交響楽団
第22回定期演奏会

第22回定期演奏会

昭和47年12月15日

神戸国際会館

神戸大学交響楽団

ワーグナー

楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲

指揮 村上憲司

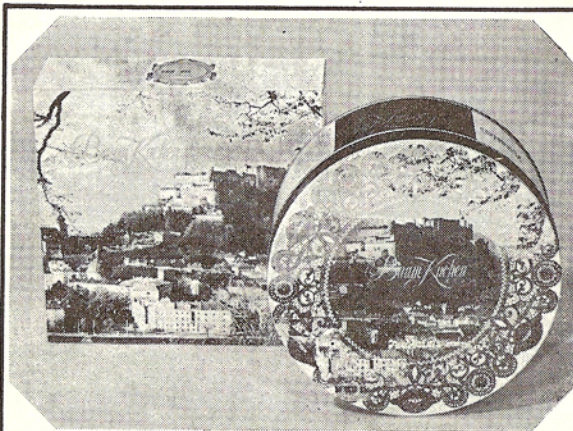
—— 休 憩 ——

ベートーベン

交響曲 第九番 ニ短調 作品125「合唱つき」

指揮 奥田伸悟
独唱 永井和子 (ソプラノ)
羽場喜代子 (アルト)
田原祥一郎 (テノール)
小村亮三 (バリトン)

合唱 アイビーコーラス
神戸海星女子学院大学グリークラブ
神戸市外国語大学混声合唱団
神戸女子薬科大学コーラス部
神戸大学グリークラブ
神戸男声合唱団
神戸山手女子短期大学コーラス部
松蔭短期大学コーラス部
合唱指導 桜井武雄



¥500～¥2,000

どなたにも喜ばれる贈りもの

— ドイツ菓子 —

ユーハイムのバウムクーヘン

ソフトに焼き上げた生粋のバターケーキ!

ドイツ菓子

Faureim's

ユーハイム

(株) **ユーハイム**

プロフィール



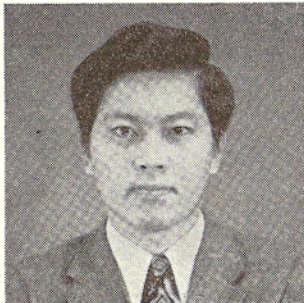
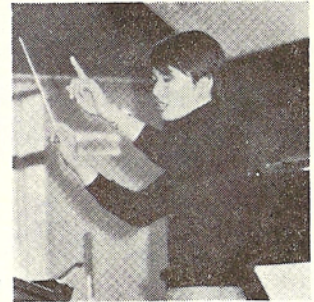
指揮者 村上 憲 司

工学部3年

本日の演奏会で、まる2年棒を振ったことになる。指揮者になりたての頃はなんとなくごちなく、また「ダジャレの村上」としてとおっていたが、最近は音楽をより深く追求せんとして、自分自身の内に沈潜し、練習には厳しさが増し、指揮ぶりも板についてきた。(この変化の要因についてはいろいろ論議されている)1年の時よりは夜の活躍をひかえているが、時々狂ったように酒をあおり、阪急六甲近辺の下宿を訪ねまわること、授業に出すぎること以外欠点は見つからない。音楽性抜群で、弦楽器のほかクラリネット、ホルンまでこなし、ビートルズ、バッハに涙するスタイリスト村上君のスマートな指揮ぶりを御覧下さい。

音楽監督 奥田 伸 悟

氏は在学中定期演奏会でフランクの交響曲ニ短調を指揮され、一昨年第20回定期演奏会でショスタコービッチの交響曲第五番を客演指揮され、いずれも好評を得た。さらに、昨年より当楽団の音楽監督をお願いしている。昨年はチャイコフスキーの交響曲第五番の他、自ら作曲された交響的変容「沈黙の残部」を当楽団で初演され大好評を得た。氏の音楽活動は幅広く、万国博の「ガラスの城」館、「ハリケーン」館、閉会式の音楽スタッフをはじめ、交響楽団や室内合奏団の他、筑前琵琶と打楽器との協演の客演指揮や、兵庫県芸術祭のバレエ音楽の制作、又、テレビ、映画、ステージの音楽制作も数多く、忙しい日々を送っておられる。作曲指揮を中元清純氏に師事：所属 企画制作「ミュージック・セリエル」、関西音楽舞踊会議会員

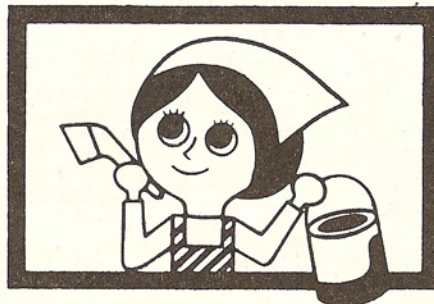


コンサートマスター 富田 大 造

工学部2年

今年の冬の部員総会で新コンマスとなった富田君。普段は、いつもにこにこしていて気のいい、コンマス。2年生にもかかわらず、先輩と対等にヴァイオリンを弾く彼、大きな目で楽譜をにらむ。力強く弓が宙をまう。時々ヘマをして、指揮者と演奏中にあやしい微笑。マシュマロの好きな、僕ちゃんコンマス。もう少し落ち着きを持って、デーンとかまえていて、コンマスの風格をただよわせてくれるならなー!

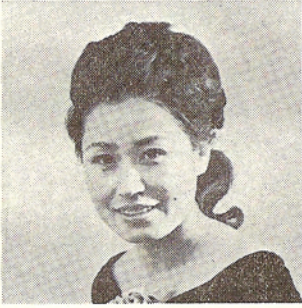
だれにでも
楽しく
塗れます



・明日のくらしを色どる日べ・

ホーム

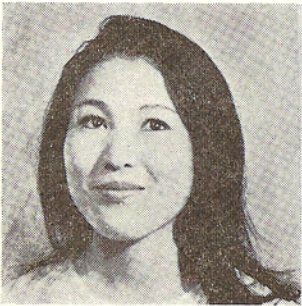
日本ペイント



永井和子(ソプラノ)

大阪音楽大学卒業後、オペラではカルメンのフラスキータでデビュー以来、蝶々夫人、椿姫、アイダ、トスカ、トロバトーレ、フィガロの結婚、ドンジョバンニ等で主役を演じ、その他、ヴェルディー、モーツァルトのレクイエム、メサイア、第九等のソリストとして出演。

現在、同大学に勤務。関西歌劇団員。

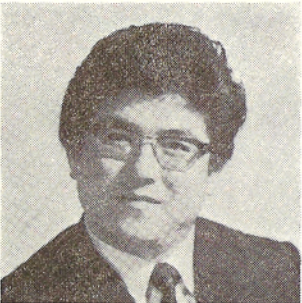


羽場喜代子(アルト)

相愛女子大学声楽科、同研究科卒業。栗本尊子、田中万美子両氏に師事。

大フィルの定期ベートーベンの「荘厳ミサ」でデビュー後、「第九」「ハ長調ミサ」モーツァルトの「レクイエム」に出演、オペラでは「カルメン」のタイトルロール、「リゴレット」のマッダレーナなどに出演。今年六月には大フィル100回定期、マーラー「千人の交響曲」に出演。

現在、相愛学園講師、関西歌劇団所属。



田原祥一郎(テノール)

東京芸大卒。同大学大学院オペラ科卒。第35回毎日・NHK音楽コンクール第2位入賞。同海外派遣特別審査会にて第1位入賞。イタリア・ミラノのヴェルディ音楽院に留学。

声楽国際コンクールの多くにヴィオッティ金賞をはじめとして各1、2位入賞。イタリア各地のリサイタル演奏会に好評を拍し昭和46年帰国。帰朝リサイタルの他、N響・京響・NHKリサイタル、二期会の演奏会の数多くに出演。柴田睦陸アンドレア・バランドーニ、カンポガリアーニ、ジュリアテスの諸氏に師事。



小村亮三(バリトン)

1966年 東京芸術大学声楽科卒業。中山悌一、笹田和子両氏に師事。

1968年 渡欧。スイスにてフスラー教授に発声を師事。

1969年 ウィーンアカデミーに入学。発声をラップフ、オペラをヴィット、リートをヴェルバの各氏に師事。在欧中、スイス、スウェーデン、ウィーンにて数回の演奏会を行なう。

1971年 11月帰国。帰国記念リサイタルを中心に、NHKラジオリサイタル、二期会公演のオペラ、オラトリオのソリストとして活躍中。

現在、大阪音楽大学、武庫川女子大学講師。二期会関西支部会員。